



令和4年5月20日

東京都千代田区四番町5番地3  
科学技術振興機構（JST）  
Tel：03-5214-8404（広報課）  
URL <https://www.jst.go.jp>

## 「ジュニアドクター育成塾」 令和4年度採択機関の決定について

JST（理事長 橋本 和仁）は、「ジュニアドクター育成塾」における令和4年度採択機関を決定しました（別紙1）。

ジュニアドクター育成塾は、将来の科学技術イノベーションを牽引する傑出した人材の育成に向けて、高い意欲や突出した能力を持つ小中学生を発掘し、STEAM学習などを通じてその能力を伸長させる体系的な取り組みを支援するものです（1件当たりの支援費：上限1,000万円／年、支援期間：5年）。

本年度の公募は、令和4年1月24日（月）から3月10日（木）の期間に行い、17件の応募がありました。その後、外部有識者で構成される委員会（別紙2）にて審査し、その結果をもとに10件の機関を決定しました。これにより、令和4年度の実施機関は30機関となります。

なお、事業の詳細については下記のホームページを参照してください。  
ホームページURL：<https://www.jst.go.jp/cpse/fsp/index.html>

### ＜添付資料＞

- 別紙1：「ジュニアドクター育成塾」令和4年度採択機関・企画一覧
- 別紙2：「ジュニアドクター育成塾」推進委員会 委員一覧
- 参 考：「ジュニアドクター育成塾」令和4年度募集の概要

### ＜お問い合わせ先＞

科学技術振興機構 理数学習推進部 能力伸長グループ  
〒332-0012 埼玉県川口市本町4丁目1-8 川口センタービル  
亀井 威則（カメイ タカノリ）  
Tel：048-226-5669 Fax：048-226-5684  
E-mail：[fsp@jst.go.jp](mailto:fsp@jst.go.jp)  
※お問い合わせは電子メールでお願いします。

「ジュニアドクター育成塾」  
令和4年度採択機関・企画一覧

機関名	概要
企画名	
筑波大学	VUCA※時代をSerendipityで切り開く人材を育成する科学教育プログラム「つくばSKIPアカデミー」を全学体制で実施する。多くの研究機関が集まる「サイエンスシティつくば」の地域性を生かし、幅広い科学分野の実習や講義、科学と社会をつなげる分野横断的な研究を学ぶサイエンスカフェ、仲間と課題に取り組むサイエンスキャンプおよび大学教員や大学院生による個別研究支援を行うことで、価値を見いだせる広い視野、状況に応じて力を発揮できる柔軟性、他者と共に活動できる協働性、課題解決に向けて挑み続ける探究力を育成する。これにより、予期せぬ事態から価値を見だし、意義あるものへと発展できる力（Serendipity）を自在に生かせる人材の基礎を育成する。
つくばSKIPアカデミー ～Science Kids Inspiration Program～	※VUCA：将来の予測が困難な状態（V：変動性、U：不確実性、C：複雑性、A：曖昧性）
東京大学	本企画では、グローバルサイエンスキャンパス事業（GSC）との緊密な協力体制のもと、STEAM的な見方・考え方と未来を開く資質・能力を併せ持ち、自ら問いを立てて仲間と探究できる未来の科学者の育成を行う。小中高の授業改善に取り組む学習科学研究者が中核を担い、多数の高度理数系専門家シニア人材が所属するNPOとも連携して事業を実施することで、学校での学びを基盤に探究の基礎を形成する段階から、研究の楽しさを味わい、未来の見通しをつかむに至るプロセスを着実に支援する。これにより、小中高大にわたって未来の科学者としての資質を育てるプロセスモデルを提案するとともに、シニア人材も活用したSTEAM人材育成プログラムのモデルケース提案を目指す。
産官学連携によるSTEAM 学習を通じた未来の科学者育 成	
山梨大学	本事業では、南アルプス・ユネスコエコパークを活用した体感的な調査や研究をもとに、環境化学、生態学、生物学、コンピュータ理工学、社会科学などの視点から学際的に自然と社会を理解し、持続可能な社会の創出に貢献する人材を育成する。具体的には、大学教員および大学院生により提供される基礎科目と実験・実習を通して、自然環境の仕組みや自然と社会との関係の中にある課題を理解するとともに、必要な情報をバランスよく収集・活用するための基盤的能力（理解力、思考力、知識活用力、調査・探究力、コミュニケーション力など）を身に付ける。また、自らが興味を持ったテーマに関する研究を深めることで、自然の仕組み・機能を活用した新しい技術の創出、それを社会で使う仕組みの提案など、科学的思考に立って次世代を牽引する人材を育成する。
やまなしジュニアドクター育 成自然塾 ～南アルプス・ユネスコエコ パークでの活動が育む未来人 材～	

機関名	概要
企画名	
神戸大学	<p>高い意欲や突出した能力のある児童生徒に対し、これまで神戸大学で取り組んできた、次世代人材育成プログラムなどと連携した共に学び合う道場のような学びの場を提供することで、次世代の日本の博士人材に必要な「未来を描く力」、「未来を切り開く力」といった科学を基盤としたアントレプレナーシップ（起業家精神）を醸成することを目的とする。第1段階育成プログラムでは、気付きや主体性を重視したフィールドワークを積極的に取り入れ、知識の理解に留まらず意欲的に学びを展開していく。第2段階育成プログラムでは、専門知識を持つ研究者、大学院生などと協働した探究活動や算数オリンピックや科学の甲子園などの他流試合を通じて、基礎知識の展開力や論理的思考力・表現力を持つ人材育成を行う。</p>
神戸みらい博士育成道場	
国立高等専門学校機構 米子工業高等専門学校	<p>小中学生の可能性を見いだすために広く受講生を募集し、高い能力や熱狂的な情熱を持つ受講生に対してSTEAM教育を通じて科学的・論理的思考力の育成を行う。さらに受講生の能力を「AI・医工連携・宇宙」といった先端科学の研究活動を通じて伸長する育成プログラムの開発を行う。また、本事業で得られた人材育成手法は成果の継続の把握と改善を通して有効性の向上を図り、地域への還元を行う。</p>
K O S E N教育の強みを最大限に活かした科学に熱狂的な情熱を持つジュニアドクターの育成	
島根大学	<p>本企画では、質の高いSTEAM型科学教育プログラムを体系的なカリキュラムとして整備し、人的・環境的に充実したサポートのもとで実践することで、傑出した科学的人材を育成することを目指す。本企画の目的は、このように掲げた目標の達成について適切な手法を用いて検証することである。さらに、各プログラムへ学校教員による参観などを教員研修に位置付けることで、科学に携わる教員の資質・能力の向上に貢献する。育てたい能力・資質を構造化した上で、各プログラムを「プログラム群」と、「段階」の2つの軸で構成する。さらに修了生とも関係を保ち、追跡調査も容易に行えるように組織化する。このようなカリキュラムマネジメントを実現することで、プログラムの価値をより高めることを目指す。</p>
島根から世界へ羽ばたけ！ 未来のサイエンティスト！！	

機関名	概要
企画名	
愛媛大学	<p>本事業は、新たな科学イノベーションに挑戦する次世代のリーダーとなるべき科学者を育成するため、科学および科学技術のみならず文科系分野や研究倫理に関する内容も含んだSTEAM教育プログラムの開発を目的としている。総合大学としての機能を活用しながら、主な担当部局となる教育学部の資源を最大限に生かし、リーダーとなるべき人材に必要な学びに向かう力および科学と社会を結ぶ科学コミュニケーション能力の育成を目指す。多様で多彩な受講者を教育委員会やさまざまな社会教育施設と連携しながら各人の特性に応じて育成することにより、次世代の科学を担っていくことのできる人材を育成する。また、ICTを活用することにより、コロナ対応はもとより遠隔地の受講者や欠席者に対するフォローを行う。これにより、広く日本中に普及するような教育プログラムと評価システムを構築する。</p>
未来を切り拓く次世代ゼネラリスト育成プログラムの開発	
九州オープンユニバーシティ	<p>自然との共生を実現し、持続可能な社会の構築に貢献することができる次世代科学者を育むにあたり、身近な自然に繰り返し触れて貴重な発見をする機会の減少、多様な立場の人々と共感・協働することの難しさ、科学に関するリテラシー、共通能力を学校において身に付ける機会の少なさが障壁となっている。本プログラムは、世界に先駆け、里山の全生態系を保全しながら開発・移転した九州大学伊都キャンパスにある生物多様性保全ゾーンでの実習を基軸とし、自然と共生する社会の構築に貢献するための個性「向自然性」「協調性」、および、科学者としての総合能力「探究力」を育む、小中高大連携型の教育カリキュラムの確立を目指す。これにより、研究と行政と市民をつないで自然と共生する社会の構築に資する科学者人材を育成する。</p>
生態系保全型開発の先駆的モデル、九州大学伊都キャンパス生物多様性ゾーンを拠点とした自然共生志向サイエンティスト育成のための「九州ジュニアドクタープログラム」	

機関名	概要
企画名	
長崎大学	本企画では、これまでの実績を生かし、さらなる進化を目指すものとして、今まで育成してきた特定分野に傑出した能力（問題発見・解決力、批判的思考力、各分野の専門的知識・技能など）と高い人間性（意欲、粘り強さ、協調性、コミュニケーション能力、チームマインド、倫理観など）に加え、社会問題に強い関心を持ち、自ら粘り強く課題発見・解決ができる人材、そして、自らの研究課題とその解決に至るプロセスを構築し、広く発信できる可能性がある主体的な人材を発掘する。本企画では、これら諸能力を持つ人材の選抜方法と、個人の諸能力をさらに伸長させるための能力育成プログラム（体制、内容、評価方法、改善方法）を開発する。そのために本企画では教育心理学・教育方法論などの専門家、理工学が専門の講座担当教員および教育委員会が連携した選抜・実施体制を整え、Science, Technology, Engineering, Mathematicsの諸分野で幅広く構成される育成プランを実施する。また、これら諸分野をつなぐものとしてArtsを中核に位置付け、科学技術の意義や研究倫理、アントレプレナーシップやジェンダーギャップの問題についてワークショップ形式で考える講座や、自らの学びを促進するための学習スキルを習得するための講座をプログラム内の共通講座として配置し、実社会と科学技術分野とを関連付けて考えられる人材育成を行う。
新しい価値と幸福な未来を創造できる人材育成プログラム	
琉球大学	卓越した意欲や能力を持つ小中学生を募集・選抜し、大学教員やシニアメンター、メンターなどの手厚いサポート体制のもと、各受講生の発達段階と才能や意欲とのバランスに配慮しながら、イノベーション精神を持つ次世代科学系人材として必要な基盤的能力や国際的な活動を含む高度な能力を幅広く育成する体系的なSTEM教育型の教育プログラムの実施を通して、受講生の潜在能力を最大限に伸ばし、科学技術分野を含む、さまざまな分野で将来国際的に活躍しうる卓越した人材を育成する。さらに、研究機関、教育機関、地方自治体、産業界などのさまざまなリソースを効果的に活用した地域連携型のネットワークを構築し、次世代科学系人材育成に貢献する。
美ら夢を描く次世代イノベーター育成プログラム「琉大ハカセ塾」	

**「ジュニアドクター育成塾」推進委員会  
委員一覧**

	氏名	所属
委員長	神崎 亮平	東京大学 先端科学技術研究センター 教授
委員	金本 吉泰	酪農学園大学 准教授
委員	木村 健太	広尾学園中学校・高等学校 医進・サイエンスコース統括長
委員	小路 徹	札幌日本大学中学校・高等学校 教頭
委員	白木原 香織	鈴鹿工業高等専門学校 機械工学科 准教授
委員	隅田 学	愛媛大学 教育学部 教授
委員	西嶋 美保子	アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc. 政策渉外担当ディレクター

（委員は五十音順）

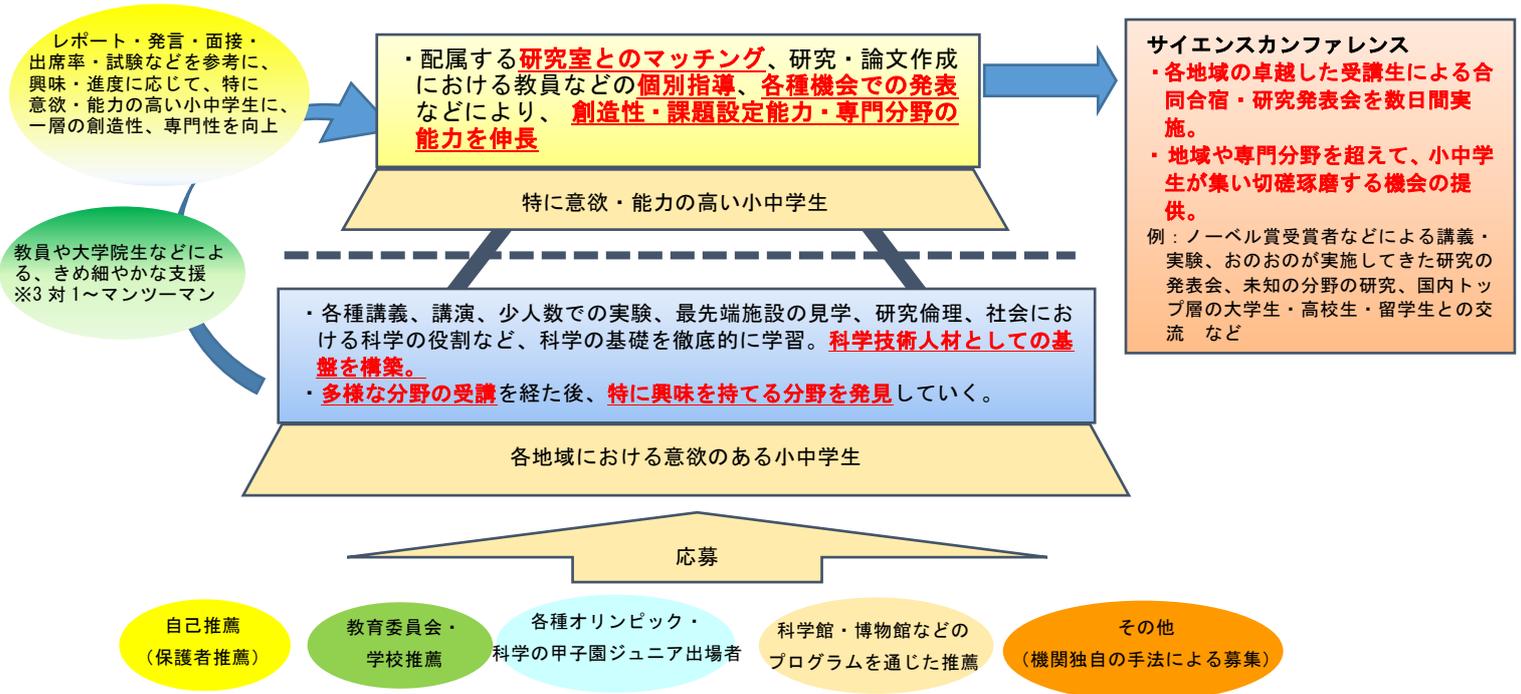
（所属、役職は令和4年4月21日時点）

※利害関係のある委員は、当該応募の審査・選定には一切関与していない。

# 「ジュニアドクター育成塾」 令和4年度募集の概要

## 1. プログラムの趣旨

将来の科学技術イノベーションを牽引する傑出した人材の育成に向けて高い意欲や突出した能力を持つ小中学生を発掘し、STEAM学習などを通じてその能力を伸ばさせる体系的育成プランの開発・実施を行うことを支援します。



## 2. 実施機関

国公立大学、高等専門学校、公的研究機関、科学館、博物館、公益法人、NPO法人、民間事業者（法人格を有すること）およびこれらの施設・法人の共同による実施

## 3. 支援対象期間

最大5年間

## 4. 採択数・支援額

採択数10機関程度（1機関当たりの支援上限額：1,000万円／年度）

## 5. 募集期間

令和4年1月24日（月）～令和4年3月10日（木）

## 6. 募集の詳細

募集の詳細については、下記のホームページを参照してください。

[https://www.jst.go.jp/cpse/fsp/kikan/jrdoctor\\_youkou.html](https://www.jst.go.jp/cpse/fsp/kikan/jrdoctor_youkou.html)